

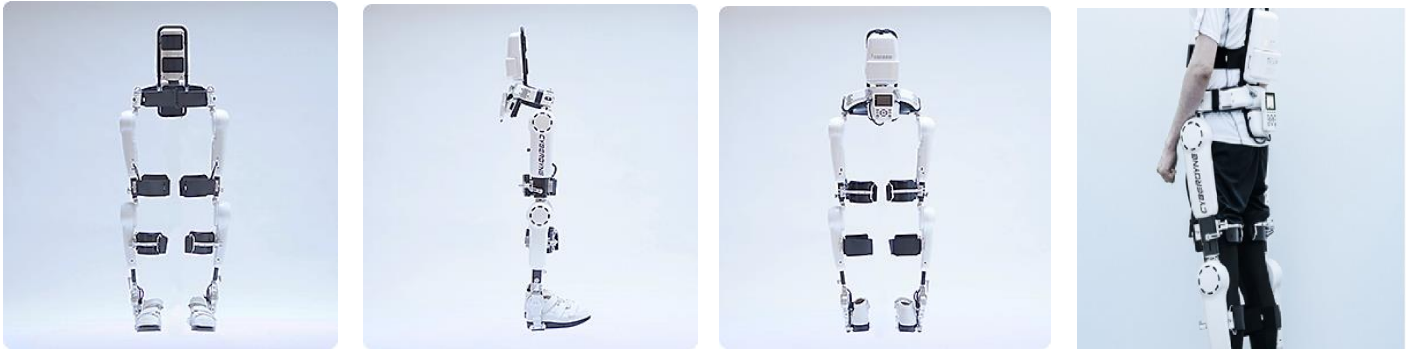
ロボットスーツHAL®医療用下肢タイプ導入のお知らせ

1. 「ロボットスーツHAL®医療用下肢タイプ」とは？

ロボットスーツHAL®医療用下肢タイプとは、緩徐進行性の神経・筋疾患患者を対象にした治療ロボットで、『生体信号反応式運動機能改善装置』という新医療機器として薬事承認をされています。

HAL®医療用(下肢タイプ)は、歩行機能を改善することを目的に使用するもので、装着者の“生体電位信号”を読み取り、それに応じて下肢を補助し、装着者自身の脚での歩行や立ち座りをアシストします。

この「ロボットスーツHAL®医療用下肢タイプ」による当該疾患患者に対する治療処置は、医療保険の適用となっております。



【 画像提供：CYBERDYNE（株） 】

2. 対象者について

【1】対象となる方

A) 対象疾患

- | | | |
|------------------------|------------------|------------------|
| ■脊髄性筋萎縮症 (SMA) | ■球脊髄性筋萎縮症 (BSMA) | ■筋萎縮性側索硬化症 (ALS) |
| ■シャルコー・マリー・トゥース症 (CMT) | | ■遠位型ミオパチー |
| ■封入体筋炎 (IBM) | ■先天性ミオパチー | ■筋ジストロフィー |

B) 身長・体重

身長：150～190cm程度、または大腿長、下腿長、腰幅などが合い、装着が可能な方

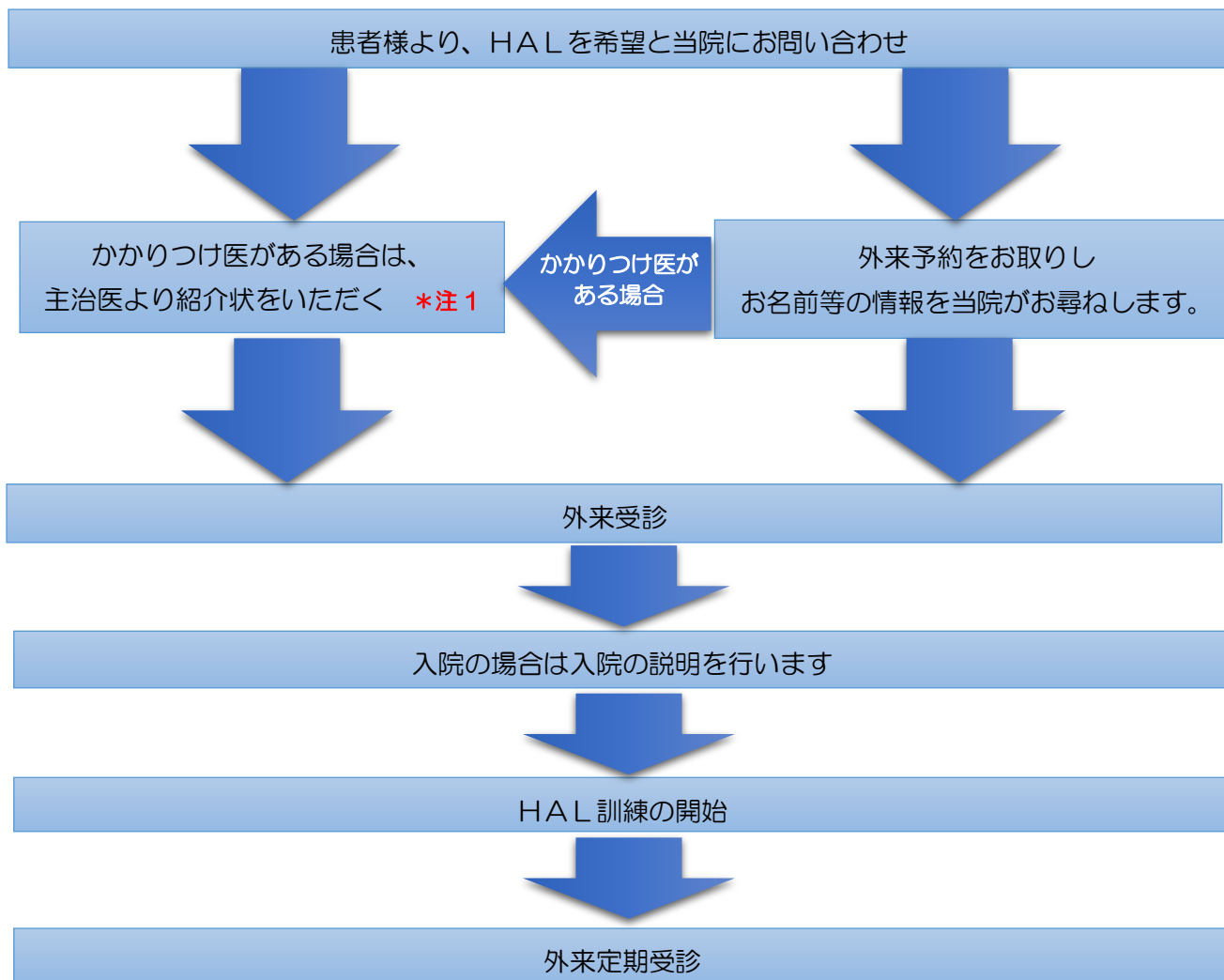
体重：40～100kg

**Aの疾患のいずれかと診断され、歩行の介助又は歩行補助具を要する方のうち、
Bの条件を全て満たす方が対象となります。**

【2】対象外となる方

- ① 身長、体重など身体のサイズが本装置に合わない方、また身体に大きな変形があるなどの理由により本装置の装着が困難な方
- ② 医師が不適切と判断された方
(例：高血圧、心疾患、呼吸器系障害、著しい骨の脆弱性、立位・歩行練習の実施が適切でない、など)
- ③ 皮膚の疾患等により電極の貼り付けができない方
- ④ 意識障害、高次脳機能障害、認知症状、精神症状による生活のトラブルがある方
- ⑤ 著しい下肢の関節障害や拘縮を認める方
- ⑥ 強い関節痛や筋肉痛を認める方
- ⑦ 明らかな運動失調を認める方
- ⑧ 四肢または体幹に明らかな不随意運動がある方
- ⑨ 妊娠中の方
- ⑩ 感覚障害が重度な方
- ⑪ 端座位（椅子座位）保持が困難な方
- ⑫ 当院の入院規定を遵守できない方

3. 治療開始までの流れ



*1 外来受診予定日までに、かかりつけ医の許可と診断名、発症日、服薬状況を記載した情報提供書を用意していただきます。また情報提供書（紹介状）作成には費用が掛かることを、患者様に説明してください。また、外来リハビリを希望の方は、他院のリハビリとの併用ができません。

4. 注意事項

- HAL®医療用下肢タイプでの治療効果に関しての内容や、外来・入院でのHAL®医療用下肢タイプでの治療費に関しては、お問い合わせください。
- 脳卒中や整形疾患患者に対しての自由診療での治療は行いませんので、あらかじめご了承ください。
- その他、詳細につきましてはお気軽に下記までお問い合わせください。

5. お問い合わせ



山鹿中央病院

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿 1000 番地
【担当】リハビリテーション科科长 川崎
医療・介護総合支援センター 古閑

【TEL】0968-43-6611

【メール】syunsui3@eagle.ocn.ne.jp

【Web】<http://www.yamagachuohp.jp/>